このたびは、シチズンウオッチをお買い上げ戴きましてありがとうございました。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いくださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書は大切に保管し必要に応じてご覧ください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

⚠ このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

■商品の特徴

この時計は文字板面にソーラーセルを配し、光エネルギーを電気エネルギーに変換して時計を駆動させるソーラーパワーウオッチです。
うるう年を含む2100年2月28日までの年、月、日が自動的に切り替わるパーペチュアルカレンダーや、時計を止めずに簡単に時差の変更ができる時差修正機能、ソーラーセルに光が当たっていない時の消費電流を抑えるパワーセーブ機能等を搭載しています。

■ご使用になる前に

この時計はソーラーパワーウオッチです。ご使用になる前には、充分に光を当てて充電してください。充電不足で時計が停止している場合は、太陽光などの強い光で充電してください。

この時計には電気エネルギーを蓄えるために二次電池が使われています。この二次電池は水銀などの有害物質が一切使われていないクリーンエネルギー電池です。一度フル充電すると約2年間(パワーセーブ機能作動時)は充電しなくても時計回路が時を刻み続けます。

〈この時計の上手な使い方〉

快適にこの時計をご使用頂くためには、常に余裕をもって充電することを心がけてください。この時計はどんなに充電しても過充電の心配はありません(過充電防止機能付き)。**毎日充電を心がけてご使用されることをおすすめいたします。**

■取り扱い上の注意

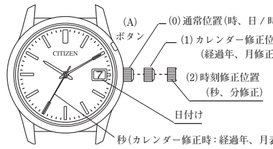
〈時計は常に充電を心掛けてお使いください〉

日常袖などを着用していると時計が隠れて光に当たらないため充電不足になりやすいのでご注意ください。
・時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

⚠ 注意　充電上の注意

・時計が高温になると、故障の原因となりますので高温下(約60℃以上)での充電は避けてください。
例)・白熱灯、ハロゲンランプなど高温になりやすい光源に時計を近づけての充電。
・ダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電。
・白熱灯で充電する時は、必ず50cm以上離して、時計が高温にならないように注意して充電してください。

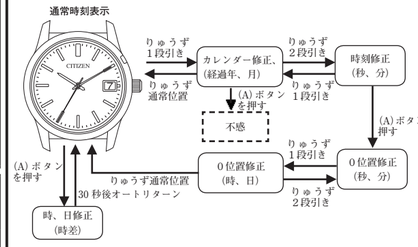
■時刻、カレンダーの合わせ方



・りゅうずがねじロックりゅうずの場合は、りゅうずを左に回してねじをゆるめてから操作を行い、操作が終わりましたら、りゅうずを通常位置に戻した後、りゅうずを押しながら右に回してねじをきちんと締めてください。

【モード切り替え】

りゅうず及び、ボタン操作で次のように修正モードが切り替わります。



【時刻とカレンダーの合わせ方】
〈分と秒の修正方法〉

1．りゅうずを2段引きすると、「秒針」が0秒位置まで早送りされ停止します。
・0秒位置で停止しない場合は、オールリセット操作後、基準位置合わせを行ってください。
2．りゅうずを回転して、「分」を合わせます。
①右に回転すると、秒針が1回転し、分針が1分運針(時計回り)します。
②左に回転すると、秒針が反時計回りで1回転し、分針が1分逆転(反時計回り)します。
・りゅうずを連続回転すると秒針と分針を早送りします。早送りを停止させる場合は、左右どちらかに回転してください。
・分針に連動して時針も運針するため、分針を早送りして時針を合わせることができます。
・時針に連動してカレンダーが切り替わります。非存日(2月30日や4月31日等)は自動的に早送りします。早送り中は、分と秒針が午前12時で待機し、時針が連続運針を始め非存日を早送りします。
3．時報(TEL.117)等に合わせてりゅうずを通常位置に戻してください。

〈時と日の修正方法〉

「時(時針)」がずれている時に、「分針と秒針」を止めることなく時針を修正できます。
日付は時針に連動しているため、単独では修正できません。「時針」を修正して切り替えます。
時針と日の修正は(A)ボタンを押してから30秒間または、運針終了後から30秒間修正ができます。
1．りゅうずを通常位置にし、(A)ボタンを押します。
・秒針がデモンストレーション運針(正転→逆転→正転)します。
2．りゅうずを回転して、「時」を合わせます。
①右に回転すると、時針が1時間分運針(時計回り)します。
②左に回転すると、時針が1時間分逆転(反時計回り)します。
・りゅうずを連続回転すると時針を早送します。早送りを停止させる場合は、左右どちらかに回転してください。
3．りゅうずを連続回転し、時針を早送りし「日付」を修正します。
・日付は、午後10時頃から午前3時の間に切り替わります。
・「月」が小の月に設定されている場合、日付を「30」から「31」に切り替えても非存日は、自動的に送られ翌月の1日を表示します。
注意：時刻修正する時は、午前、午後に注意して合わせてください。日付が切り替わった時が午前です。
4．りゅうずがねじロックりゅうずの場合は、時針の運針終了後(日付けが切り替わっている場合は、日付けの切り替わり後)30秒以上経ってから、りゅうずを押しながらねじをきちんと締めてください。運針終了後、直ぐにりゅうずのねじ締めを行うと、時と日の修正状態が継続しているため、時針が運針し時間がずれてしまいます。

〈経過年と月の修正方法〉

りゅうずを1段引きすると、秒針が「年(うるう年からの経過年)」と「月」の表示に切り替わります。
1．りゅうずを1段引きすると、秒針が記憶している「年」、「月」の位置に移動し停止します。
2．りゅうずを回転させて「年」、「月」を合わせます。
①りゅうずを右に回転させて「年(うるう年からの経過年)」と「月」に対応した位置に秒針を合わせます。
②左に回転すると、秒針が逆転します。
・りゅうずを連続回転すると早送りします。 早送りを停止させる場合は、左右どちらかに回転してください。

(例)
・うるう年の12月の場合：0秒の位置に秒針を合わせます。
・うるう年から3年経過した年の4月の場合：23秒(4時と5時の間)の位置に秒針を合わせます。
3．「年」、「月」修正後は、必ずりゅうずを通常位置に戻してください。秒針が現在秒に追い付き、運針を開始します。

[非存日に合わせた場合]

日付を合わせた後、月を変更し日付が非存日になった場合、修正状態からりゅうずを通常位置に戻すと、日付が自動的に翌月の1日に切り替わります。

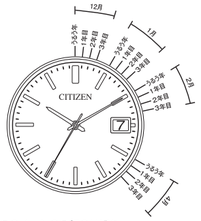
＜うるう年からの経過年早見表＞

年	経過	年	経過
2008年	うるう年	2012年	うるう年
2009	1年目	2013	1年目
2010	2年目	2014	2年目
2011	3年目	2015	3年目

＜月と年の見方＞

☆月の見方
1月：1時と2時の間
2月：2時と3時の間
：
12月：12時と1時の間

☆年の見方
うるう年：各月のゾーンの最初の日盛り
うるう年から1年目：各月のゾーンの1日盛り目
うるう年から2年目：各月のゾーンの2日盛り目
うるう年から3年目：各月のゾーンの3日盛り目



〈時差修正の方法〉

(A)ボタンを押しりゅうずを回転すると、1時間単位で時差修正ができます。
時差修正は(A)ボタンを押してから30秒間または、運針終了後から30秒間修正ができます。
1．りゅうずを通常位置にします。
2．(A)ボタンを押すと、秒針がデモンストレーション運針(正転→逆転→正転)します。
3．りゅうずを右または、左に回転させて時差を修正します。
①右に回転すると、時針が1時間分運針(時計回り)します。
②左に回転すると、時針が1時間分逆転(反時計回り)します。
・りゅうずを連続回転すると時針を早送りします。早送りを停止させる場合は、左右どちらかに回転してください。
注意(1)：時差修正する時は、午前、午後に注意して合わせてください。
注意(2)：時差を元に戻す際は、修正した反対方向に時針を戻してください。
4．りゅうずがねじロックりゅうずの場合は、時差修正が終わって(時針の運針終了後またはは、日付け切り替わり後)30秒以上経ってからりゅうずを押しながら、ねじをきちんと締めてください。運針終了後、直ぐにりゅうずのねじ締めを行うと、時差修正状態が継続しているため、時針が運針し時差がずれてしまいます。
(例) 東京(ホームタイム)が午前10時00分の時のロンドン(ローカルタイム)の時刻に合わせる場合。
東京とロンドンとの時差は－9時間です。東京が午前10時00分の時ロンドンは午前1時00分です。この時の時差を修正する場合は、
1．(A)ボタンを押します。
2．りゅうずを左に回転させ針を9時間分逆転(反時計回り)させます。
注意：りゅうずを右に回転させ針を時計回りに動かして1時00分に合わせると、午後の1時00分になりカレンダーの作動時刻がずれてしまい正しい時間に日付けが切り替わらなくなります。

— －9時間の時差修正を行う場合 —

＜正しい合わせ方＞

■：時差修正の方向
□：時差を戻す方向

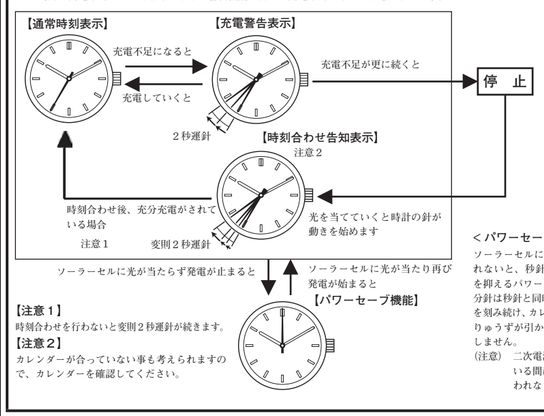
＜間違った合わせ方＞

■：間違った時差修正の方向

秒針が2秒運針し充電不足をお知らせしている時は時差修正はできません。
時計に光を当てて充電し、1秒運針に戻してから時差修正を行ってください。

■ソーラーパワーウオッチ特有の機能について

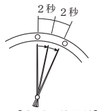
この時計は充電不足になると以下のような警告機能が働いて充電不足であることを知らせます。



【注意1】
時刻合わせを行わないと変則2秒運針が続きます。

【注意2】
カレンダーが合っていない事も考えられますので、カレンダーを確認してください。

【2秒毎の運針】



＜充電警告機能＞
秒針が2秒運針して充電不足を知らせます。
このときも時計は正確に動いていますが2秒運針を始めてから約2日経過すると時計は止まってしまいます。
光を当てて充電し、もとの1秒運針に戻してください。
2秒運針している時は、時刻修正、カレンダー修正、時差修正はできません。

【変則2秒運針】

＜時刻合わせ告知機能＞
時計が停止した後再び光が当たると、時計の針は動きだしますが時刻がずれているため、秒針が変則2秒運針して時刻がずれていることを知らせます。充分に充電した後時刻を合わせ直してください。時刻合わせ操作をしないと変則2秒運針が続きます。

＜パワーセーブ機能＞
ソーラーセルに連続して2時間光が当たらず発電が行われないと、秒針が12時で停止し、二次電池の消費電力を抑えるパワーセーブ状態になります。
分針は秒針と同時に停止します。時計は1時間運針で時刻を刻み続け、カレンダーは時計に連動して切り替わります。
りゅうずが引かれた状態では、パワーセーブ機能は作動しません。
(注意) 二次電池がフル充電され過充電防止機能が働いている間は、ソーラーセルに光が当たらず発電が行われなくてもパワーセーブ機能は作動しません。

＜パワーセーブを解除する方法＞
ソーラーセルに光が当り、再び発電が開始するとパワーセーブ機能が解除されます。分針と秒針は早送りで現在時刻まで送られ運針を開始します。

＜過充電防止機能＞
二次電池がフル充電されると、それ以上は充電されないように過充電防止機能が働きます。

■充電時間の目安

時計のモデル(文字板色など)によって充電時間が異なります。あくまで目安としてご利用ください。
＊充電時間は連続照射時間です。

照度 lx(ルクス)	環　境	充電時間(約) 1日動かすために必要な充電時間	止まり状態から1秒運針までの充電時間	止まり状態からフル充電までの充電時間
500	一般オフィス内	2.5時間	53時間	470時間
1,000	蛍光灯(30W)の下60～70cm	1.5時間	26時間	216時間
3,000	蛍光灯(30W)の下20cm	26分	9時間	69時間
10,000	曇天	9分	3時間	24時間
100,000	夏の日の直射日光下	7分	50分	16時間

フル充電時間……時計が停止している状態から最大に充電されるまでの時間
1日分の充電時間……時計が1秒運針で1日動かすのに必要な時間

■二次電池の交換について

この時計に使われている二次電池は充電、放電を繰り返し行えるため、一般電池のような定期的な電池交換の必要はありません。

⚠ 警告　二次電池の取り扱いについて

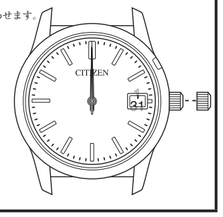
・お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。
・やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない所に保管してください。
・万一、二次電池を飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談して治療を受けてください。

⚠ 警告　指定の電池以外は使わないでください

この時計に使われている二次電池以外は絶対に使用しないでください。
他の種類の電池を組み込んでも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池などの他の種類の電池を使い万一電池されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。
二次電池交換の際は必ず指定の二次電池をご使用ください。

■基準位置合わせ

基準位置がずれている場合は、オールリセット操作後、りゅうず2段引きで秒針と分針、1段引きで時針と日付の基準位置合わせを行ってください。
1．りゅうず2段引状態で、(A)ボタンを1秒以上押した後、秒針と分針を12時に合わせます。
(1)りゅうずを右に回転すると、秒針と分針が正転します。
(2)りゅうずを左に回転すると、秒針と分針が逆転します。
・りゅうずを連続回転すると早送ります。 早送りを停止させる場合は、りゅうずを左右どちらかに回転してください。
2．りゅうず1段引状態で、日付を「31と1」の中間に合わせ、時針を12時に合わせます。
(1)りゅうずを右に回転すると、時針が正転します。
(2)りゅうずを左に回転すると、時針が逆転します。
3．日付は時針に連動して動きます。時針を連続運針し日付を「31と1」の中間に合わせます。
4．時針を12時に合わせます。
5．各針と日付を合わせたら、りゅうずを通常位置に戻します。
注意(1)：基準位置の記憶は1秒毎時間が掛かります。基準位置が記憶されると秒針が変則2秒運針を始めます。りゅうずを通常位置に戻した後、変則2秒運針を始める前にりゅうず操作を行うと、基準位置が記憶されない場合があります。
注意(2)：基準位置合わせ操作を行わないと、りゅうずを通常位置に戻しても秒針が停止したままの状態が続きます。
6．基準位置合わせ後、時刻及びカレンダーを正しく合わせ直してください。
・オールリセット後、基準位置合わせの時刻は午前0時です。午前、午後を間違えないように「時刻、カレンダーの合わせ方」を参照し時刻と、カレンダーを合わせてください。



■オールリセットについて

静電気の影響や強い衝撃等により時計の表示がずれることがあります。このような場合にはオールリセット後、「基準位置合わせ」を行ってください。
1．りゅうずを2段引きします。
・秒針が記憶している0位置に移動して停止します。
2．(A)ボタンを1秒以上押し放します。
・秒針と時針が「正転→逆転→正転」のデモンストレーション運針を行います。
これでオールリセット操作は終わりです。オールリセット後必ず基準位置合わせを行なってください。
注意：充電不足の時はデモンストレーション運針は行いません。充分に充電してからオールリセット操作を行ってください。

■製品仕様

・**機種**：B11※
・**型式**：アナログソーラーパワーウオッチ
・**時間精度**：平均月差±15秒
通常温(5℃～35℃)携帯時
・**作動温度範囲**：－10℃～＋60℃
・**表示機能**：
時刻：時、分、秒、(秒針と分針は1秒運針、時針は3分運針)
カレンダー：日付表示
秒針による経過年、月表示
(経過年、月はカレンダー修正時のみ表示)
・**付加機能**：パワーセーブ機能
時差修正機能(1時間単位の正、逆転修正)
充電警告機能
時刻合わせ告知機能
過充電防止機能
・**持続時間**：フル充電－停止:約2年(パワーセーブ機能作動時)
2秒運針～停止:約2日
・**使用電池**：二次電池

※仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。

■保証とアフターサービスについて

1．保証について
正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

2．修理用部品の保有期間について
当社は、時計の機能を維持するための修理用部品を通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・バンドなどの外装部品については、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

3．修理可能期間について
当社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

4．ご転居・ご贈答品の場合
保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、最寄りの弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。

5．定期点検(有償)について
安全に永くご使用いただくために、2～3年に一度点検(有償)を行ってください。
防水時計の防水性能は、経年劣化しますので、防水性能を維持するために、部品の交換が必要です。必要に応じてパッキングやパネ棒などの交換を行ってください。
部品交換の際は、純正部品とご指定ください。交換だけでなく他の部品の点検または修理を行う必要がある場合もありますので、交換修理料金など、詳しくはお買い上げ店または最寄りの弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。

6．その他お問い合わせについて
保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または、最寄りの弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。

■お取り扱いにあたって

⚠ 警告　防水性能について

・日常生活用防水時計(3気圧防水)は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。
・日常生活用強化防水時計(5気圧防水)は、水泳などには使用できますが、素潜り(スキンダイビング)などには使用できません。
・日常生活用強化防水時計(10／20気圧防水)は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

防水性について
・りゅうずを引いた状態では、防水性能に関係なく浸水してしまうのでご注意ください。
・時計の文字板及び裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、右図を参照して正しくご使用ください。

(bar は約1気圧に相当します)

名　称	表　示 文字板又は裏蓋	仕　様	使用例 水がかかる程度の使用。(洗顔・雨等)	水仕事や、一般水泳に使用。	スキンダイビング、マリンスポーツに使用。	空気ボンベを使用するスキューバ潜水に使用。	水滴がついた状態でのりゅうずやボタンの操作。
日常生活用防水時計	WATER RESIST (ANT)	3気圧防水	○	×	×	×	×
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 5 bar	5気圧防水	○	○	×	×	×
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 10/20 bar	10気圧防水 20気圧防水	○	○	○	×	×

＊WATER RESIST(ANT)△△ bar は W.R. △△ bar と表示している場合があります。

⚠ 注意

・りゅうずは常に押し込んだ状態(通常位置)でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
・水分のついたままりゅうずやボタンの操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
・皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。
水の中で使うことが多い日常生活用強化防水時計の場合は脱色、接着はがれなどの不具合を起こすことがありますので、あらかじめ他の材質のバンド(金属製またはゴム製)にお取り替えの上、ご使用ください。
・日常生活用強化防水時計の場合、海水に浸した時や多量の汗をかいた後は、真水でよく洗い、よく拭き取ってください。
・万一、時計内部に水が入ったり、また、ガラス内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、最寄りの弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
・時計内部に海水が入った場合は、箱やビニールに入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品(ガラス、りゅうず、ボタンなど)が外れる危険があります。

⚠ 注意　携帯時の注意

・幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど充分ご注意ください。
・激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、充分ご注意ください。
・サウナなど時計が高温になる場所では、火傷の恐れがあるため絶対に使用しないでください。
・ウレタンバンドは、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの(衣類、バッグ等)と一緒に使用する場合はご注意ください。

⚠ 注意　バンドのお取り扱いについて(着脱時の注意)

・バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

⚠ 注意　時計は常に清潔に

・ケースとりゅうずの間にゴミや汚れが付着したまま放置しておくと、りゅうずが引き出しにくくなることがあります。時々はりゅうず通常位置のままでりゅうずを空回りさせてください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
・ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
・かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれを生じることがあります。異常を感じたら、ただちに使用を中止してすぐに医師に相談してください。

かぶれの原因は
1．金属、皮革アレルギー
2．時計本体及びバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗などです。
・皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。
乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。
・バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。

〈時計のお手入れ方法〉
・ケース、ガラスの汚れや汗などの水分は柔らかい布で拭き取ってください。
・皮革バンドは乾いた布で、汚れを取ってください。
・金属バンド／プラスチックバンド／ゴムバンドは水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで取り除いてください。
・溶剤類(シンナー、ベンジンなど)の使用は、変質の恐れがありますのでお避けください。

ナチュライト付きの場合
・「ナチュライト」は、放射線物質などの有害物質を一切含まない人体や環境に安全な蓄光性の物質を使用した夜光塗料です。ナチュライトは、太陽光や室内照明などの光を蓄え、暗い所で発光します。
ただし、蓄えた光を放出させるため、時間の経過と共に少しずつ明るさ(輝度)は落ちていきます。また、光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間などによって発光する時間に誤差が生じます。光が充分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。

温度について
・－10℃～＋60℃の温度範囲外では機能が低下したり、停止することがあります。
製品仕様範囲外でのご使用はお避けください。

磁気について
・アナログ式クオーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具(磁気ネックレス・磁気健康腹巻など)、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、電磁調理器などに近づけないでください。

静電気について
・クオーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

ショックについて
・床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。

化学薬品・ガス・水銀について
・化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。
シンナー・ベンジン等の各種溶剤及びそれらを含有するもの(ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤など)が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には充分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

保管について
・長期間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。
・時計を長時間ご使用にならない場合、できるだけ光が当たる場所で保管することをおすすめします。また、りゅうずを時計合わせ位置に引き出した状態で保管すると持続時間が長続きます。